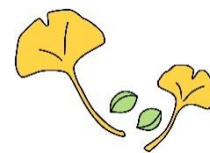




学校だより



<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/akuwa/>

10月号

学校教育目標 「みんなかがやけ あくわっ子」

㊦ いさつから輪を広げる子 ㊧ ふうして学び続ける子 ㊨ たしもあなたも命を大切にする子

感性を豊かにすること

校長 菊地 信明

阿久和団地へと続くイチョウ並木を見上げると、銀杏がたくさんなっている木を見つけることができます。落ちた銀杏の実を踏まないように子どもたちが慎重に歩いていました。これからの季節、葉が黄色に変わっていくのが楽しみです。

さて、学校は、間もなく前期の終了を迎えます。この半年の自分の育ちをしっかりと振り返り後期へのめあてをもてるようにしていきたいと思います。ご家庭でも、終業式に子どもたちが持って帰る「あゆみ」を見ていただきながら、お子様の成長について話題にさせていただけるとありがたいです。

先日、5年生と一緒に「こころの教育ふれあいコンサート」で、みなとみらいホールへ行ってきました。市内の5年生31,000人の児童に、神奈川フィルハーモニー管弦楽団の演奏を聴く機会を設け、音楽に対する感性を磨くことで、心豊かに生きていこうとする資質能力を育むことを目的として取り組んでいます。ですから、横浜の子どもたちは、どの子も小学校の内に生のオーケストラを体験することができるのです。



目の前で演奏を聴くことは、CD等で聴くことに比べると、全身で音を感じることができるので、迫力が違います。その上、視覚から入る情報が加わるので、受ける印象はそれ以上です。バイオリンを弾く弓の動きがみな揃っていたり、ティンパニをたたくスティックの激しい動きだったり、シンバルをたたいた後の余韻を残す動きだったりその場にいなければ分からないことです。また、指揮者の動きやそれに合わせた演奏家の動きも曲のイメージを強く伝える大きな要因になっていました。5年生にとって、本当に貴重な体験ができたことでしょう。

その翌日、6年生が、いずみ野中学校と合唱交流をしました。合唱もそうですが、歌声に加えて、表情がとても大切です。一クラス30人以上の中学生の合唱発表の後、本校6年生の合唱でした。舞台上に立った時、その少ない人数に不安を感じましたが、歌い始めた瞬間にその気持ちはなくなりました。一人ひとりの精一杯の歌声と担任の指揮を見る子どもたちの表情が心を打ちました。体育館に子どもたちの歌声が響き渡りました。



5年生、6年生の様子は、中頁にも記載されていますので、ぜひご覧ください。

10月18日(金)に全校遠足を予定しています。今年度は、金沢自然動物園に行きます。たてわりグループで活動することで、自主的な力を伸ばそうと考えています。この行事をはじめ、後期も様々な活動を通して、感性を豊かにし、自信をもって自己表現できる子どもたちを目指していきます。引き続き、ご理解、ご支援をよろしくお願いいたします。